

# 中小企業ぎふ

Vol.670

2021年1月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号  
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～



田澤電材(株)で扱う商品等

## 組合紹介 2～3

岐阜県製本紙工工業組合

## クローズアップ企業 4～5

岐阜県電設資材卸業協同組合 組合員  
「田澤電材株式会社」

## 専門家コラム

「今をどう見る～生き残りツールとしての情報」 6～7

## 組合等の活動 8～10

- ・飛騨高山旅館ホテル(協)  
LINE登録にて飲食店で使えるクーポン発行
- ・岐阜県長良川温泉旅館(協)  
レンタサイクル事業の実証実験スタート
- ・岐阜県菓子(工組) ニセ電話詐欺注意喚起シールを作成
- ・高山管設備工業(協)  
創立30周年記念式典・祝賀会を開催
- ・岐阜県陶磁器工業(協連)組合員等  
多治見・土岐・瑞浪で美濃焼新春見本市を開催
- ・岐阜県既製服縫製(工組) 婦人子供服製造技能士1級に合格
- ・岐阜県自動車車体整備(協) 自動車車体整備技能者手帳を作成
- ・岐阜県金属工業団地(協)  
新型コロナに対応したガイドライン・運用マニュアルの作成
- ・(協)岐阜県可児工業団地管理センター  
新型コロナ対策に向けたBCPの確立

## 中央会の活動 11～13

- ・会長新春インタビュー
- ・理事会並びに講演会を開催
- ・コロナ禍における働き方と人材との向き合い方  
セミナーの開催
- ・組合事務局スキルアップ講座を開催
- ・諸制度改正に伴う専門家派遣等事業 講習会の開催
- ・「外国人技能実習制度適正化講習会(第2回)」を開催
- ・青年中央会が組合青年部ガヤガヤ会議を開催
- ・組合士協会が研修会及び懇談会を開催

## 景況レポート 14～15

## 全国の先進組合事例 16

- ・木曾漆器工業(協)

## 岐阜県の組合青年部活動紹介 16

- ・岐阜電気工事(協)

## インフォメーション 17

- ・新春 職員集合写真
- ・中央会日誌
- ・中央会 職員コラム

## 年賀広告 18～22

# 組合紹介

## こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



### 岐阜県製本紙工工業組合

- 理事長 今井 桂一
- 組合員数 17人
- 設立年月 1963年5月
- 住所 岐阜市忠節町2丁目4番地
- TEL 058-262-1086

#### ◆組合の歴史・活動

##### ■任意組合での活動を含めおよそ100年の歴史



今井理事長

当組合の歴史は非常に古く、大正11年に任意組合として岐阜県製本組合が結成されて以来、100年近い歳月を数えております。この間に、幾多の変遷を重ね、昭和16年の大東亜戦争の勃発と同時に一度は組合解散を余儀なくされました。その後、昭和23年に岐阜県紙工

組合として再発足し、活動を再開。同年に岐阜県製本紙工協同組合へ法人化、そして昭和38年に岐阜県製本紙工工業組合に組織変更し現在に至ります。1970年代のピーク時の組合員数は48名でありましたが、近年は印刷のデジタル化に伴い、製本業の業務にも変化が起きており、加えて後継者不足なども相まって、組合員数は17名となりました。

製本業は環境変化に大きく左右される仕事です。戦前は手作業で伝票や帳簿の製本をメインで行う製本業者が多くありましたが、戦後の製本機械の登場により、手作業で行う必要がなくなり、製本の仕事は大きく変わりました。手作業で行うことは技術がいることですが、環境の変化によりその技術が必要なくなることは製本業界ではよくあります。製本業界で生き残るためには、環境変化への対応が必要となります。

当組合の活動は、製本作業に必要な副資材の共同購買事業が柱となっており、その他にも青年部活動による若手の自己研鑽やブックフェスティバルの出展による製本のPR活動を行っています。

##### ■製本作業に必要な副資材の共同購買について

共同購買事業では、“中綴じ(本の中心をホチキスで留める方法。【用途】カタログ、情報誌など)”に使用する針金、“無線綴じ(本の背を糊付けする方法。【用途】週刊誌、報告書など)”に使用するボンド(ホットメルト)、完成した印刷物を

納品する際に使用する包装紙など、製本作業に必要な副資材を購入しています。

針金ひとつとっても、種類は鉄や亜鉛等、太さも多岐に渡り、各社が全種類在庫を持つことは難しいです。また、組合員個々で副資材を購入する場合、購入量が少なくなるため、送料負担が大きくなります。組合では一度に大量に仕入れるため、送料分安く組合員に提供することができます。加えて、組合事務局が配送を行うため、組合員から注文を受けてからのスピーディーな配送も売りの一つです。



副資材倉庫

全国の同業種組合で組合事務局を構え、常勤職員がいる組合は少なく、事務所や資材を保管する倉庫や事務局があることは非常に頼もしい存在となっています。

##### ■組合青年部『若鮎会』

昭和44年に青年部組織である『若鮎会』が発足し、現在も若手経営者、後継者で活動を続けています。若鮎会では、研修会や県外視察等を行っていますが、一番期待することは、他社との交流です。全国組織の青年部や活発に活動されている愛知県の青年部等との交流を通じて、さまざまな情報を得て欲しいです。

若手に限らず、全製本業者に言えることですが、製本の仕事では、出来上がったものは同じでも、出来上がりまでの工程が異なるということは多々あります。工程が違うということは当然工賃にも差がでできます。他社がどのような作業をしているかを知ること、自社の強みや弱みに気付く機会や真似をしてスキルアップにつなげてほしいと考えています。その中でも、特に若手には自分・自社にしかできないことを身に付けてほしいと思います。製本業は環境に左右されやすい業種です。岐阜の仕事も年々減っていますが、全国にはまだまだ仕事はあります。若鮎会での活動を通じて、自分・自社にしかできないことを身に付けて、選ばれる会社となって欲しいです。

##### ■ブックフェスティバルへの出展を通じて製本のPR

毎年11月に各務原市で開催される「ブックフェスティバ

ル」に継続出展しています。製本の仕事を伝えるため、手作りの御朱印帳づくりが楽しめる製本体験コーナーを設けています。

また、組合事業ではありませんが、組合員が各々で製本を



ブックフェスティバルの様子

PRする活動を行っています。私の会社では、地元の学校の生徒を課外授業の一環として受け入れ、製本作業の体験などを行っており、その他にも大学に出向いて製本作業を教える出前講座の講師を務める組合員もいます。一般の方に馴染みのない製本の仕事が少しでも伝わればと考えています。

納期や機械の都合等で自社では対応できないからといって、他の組合員ができないわけではありません。そこで仕事を断ってしまえば、岐阜の業者では対応できないと思われるかもしれません。岐阜の仕事を確保するためにも組合員間での連携が必要になると思います。組合員同士が互いに高め合い、仕事のやりくりもできる関係になれば良いと思います。

また、業界に魅力がなければ後継者不足になることは当然です。製本の仕事を伝えるPR活動を継続していく他、組合活動を通じて自分・自社にしかできないことを身に付け、利益を上げていってほしいと思います。



組合事務所にて  
今井理事長(左)と上野事務局長(右)

### ◆組合が目指す方向性とは

#### ■組合員間の強固な連携構築、業界のPR

当組合は同業種の集まりですが、仕事を取り合う間柄にはありません。その中で、組合員間で仕事の融通などができたらと考えています。

## 業界豆知識

### 「折丁、面付けの話」

製本をするためには、まずは両面印刷された一枚の大きな紙を本のページ順になるように決まった折り方で折ります。この製本をするために折りたたまれた状態のものを「折丁」と言います。

折りの基本として4ページ・8ページ・12ページ・16ページ・32ページ折りがあり、紙の厚さや縦本・横本などによっても折りは変わりますが、よくある上質紙を使った書籍では16ページ折りが一般的です。

印刷された1枚の紙を決まった折り方で折っていくとページ順に並びます。この時、ページ順に並ぶように1枚の紙にページを配置することを「面付け」と言います。

16ページ折りの場合、表8ページ分、裏8ページ分を画像のように配置します。

一見、ランダムに並べているように見えますが、「天1」の裏に「天2」がくるような位置関係で、「天1」が表になるように、二つ折りしてさらに二つ折りしてもう1回二つ折りしてみてください。そうすると書いた番号が順番に並んでいませんか？まっさらなコピー用紙と鉛筆とはさみで試してみてください。

本は、コピー機のように1ページずつ印刷するのではなく、折丁を一つの単位として、異なるページの折丁から構成されています。

(表)				(裏)			
天 ①	天 ⑬	天 ⑫	天 ④	天 ③	天 ⑭	天 ⑮	天 ②
⑧	⑥	⑭	⑨	⑨	⑪	⑩	⑦
¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥

※組合紹介への掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

# クローズアップ企業

岐阜県電設資材卸業協同組合

## 田澤電材株式会社

### 《企業概要》

所在地：岐阜市清本町2丁目50番地 電話：058-273-1121

代表：代表取締役社長 田澤 太郎

主な事業：電気設備資材の卸売



本社外観

### ◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

#### ◆ 創業80年以上の老舗電材専門商社



田澤社長

当社は、昭和9年に電気工事業者として創業し、昭和28年に電材専門商社である有限会社田澤電材商会を設立。その後、田澤電材株式会社に改称し現在に至ります。創業80年以上の歴史を持つ、老舗電材専門商社です。

設立時の代表である祖父と私は、奇しくも同姓同名であることもあり、私が営業に行った際には、祖父の話进行う機会も多く、祖父のお客様を大切にしていた姿を感じ取りました。

幼いころから父や社員の働く姿を見て、自らも故郷である岐阜の地で活躍したいと思うようになりました。

### ◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

#### ◆ 県下トップクラスの電材専門商社

当社は、岐阜県下に複数の営業拠点を置き、地域に密着したきめ細かな販売ネットワークを強みとしており、販売実績は県下電材専門商社でトップクラスを誇ります。

電材卸業界は、垣根が高くないため管設備業や建材業等が競合となってくる他、大手の地方への進出により、特に県境の競争が激化しています。また新型コロナウイルス感染症のあおりも受けており、官公庁の建物は予定通り建設していますが、民間の建物は建設中止もあり、業界としても大きな影響を受けています。

このような中、当社では、主な取引先である電気工事業者様とは密に連携を取っており、施工を行う電気工事業者

様の提案スキルを我々の力で上げる努力をしています。資材を卸すことが当社の仕事ですが、「物を卸す→知恵を卸す」意識で仕事をしています。

#### ◆ ニーズに合わせた事業展開

長年にわたって積み上げてきた実績・知名度に慢心せず、常に前進を続けるというのが当社の経営スタイルです。その一環として、開発事業部という部署を立ち上げ、地球環境問題・CO2削減が叫ばれる中で、住宅用太陽光発電設備等への本格参入を開始しました。関連機器の販売だけでなく、相談会の実施や設置提案、予測発電量の算出・光熱費削減提案までを行い、効果的な太陽光発電へのニーズに応えています。

近年は蓄電池の価格も下がり手が出しやすくなり、また、国の脱炭素化の動きも加速しているため、需要は大きくなることが予測され、事業の発展も期待できると考えています。

その他にも、全館空調と言う家全体の空調を一括して行うシステムに需要の波が来ており、当社では空調の配管設置の設計も含めた提案を行います。

このように、トレンドに敏感になり、ユーザーのニーズをいち早く汲み取り、自社の仕事に反映しています。



家庭用蓄電池

## ◆ 「自分 credo」による自立した考えの形成

当社は定期採用を行っていますが、なかなか人材が定着しない点が悩みのひとつでした。そこで、年齢や社歴が近い先輩社員が新入社員をサポートするメンター制度を取り入れたところ人材定着につながりました。若手の頃は、同じタイミングで、同じような悩みや壁にぶつかることは多々あると思います。同じ経験をした先輩社員であれば、同じ価値観を持っており、共感することができます。

また、自立した考えを持ってほしいと思い、社員は「自分 credo」カードを携帯しています。「自分 credo」カードには当社が守ってほしい10か条の他、自分として守っていききたいことや大切にしたい想いを自由に記載してもらっています。私を含め上司らが記載内容を確認することはありませんが、自分で決めたことを守ってもらうことで、自分で考え自分で決め自分で動ける人間になることを期待しています。

近年は、営業担当にも電気工事士の資格取得を勧めています。営業担当ですので、本人が直接施工することはありませんが、電気工事業者様と我々の仕事は密接な関係にありますので、電気工事業者様と接する際にも、知識の有無で話の内容は大きく変わってくると思います。



仕事風景

## ◎ 組合に期待することは何ですか？

### ◆ 密接な関係である電気工事業者との連携

当社では電気工事業者様の財務や人材育成に関する悩みを解決する取り組みを始めています。電気工事業者様とは密接な関係にあり、我々にとってはなくてはならない存在です。今後は、個社同士の連携ではなく、組合同士の連携ができたかと考えています。今までは、商材について電気工事組合に説明を行ったことはありますが、今後は、経営についてや財務、人材等のソフトな面についてのセミナー、情報交換を行い、共に支え合っていけたらと考えます。

## ◎ 最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

### ◆ 新たな需要への対応、信頼される人材の育成

CO2削減が叫ばれている現在、環境に即した商材としてLEDや太陽光発電、蓄電池、オール電化が主流になっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で換気への注目度が高まっています。空気清浄機や空気循環器の売れ行きが好調で、空気の質に注目した商材の需要が顕著に現れています。今まで売れなかった商材が注目され、需要にも大きな変化が見られます。新たな需要に対応するための知識や提案力を身に付けることや多くの商材を取り揃えることが求められます。

最後になりますが、営業は何より人が大事だと思います。お客様のもとに頻りに顔を出し、腹を割って話せるような信頼関係を築くことが大切です。信頼関係構築の中で、時には「担当を変えないで」と嬉しいお言葉をいただくこともあります。今後も、お客様からの信頼を得られるように取り組んでいきます。

### 【組合概要】 岐阜県電設資材卸業協同組合

代表理事 田澤 太郎（田澤電材株式会社）

岐阜市清本町2丁目50番地

組合員数：17名

主な事業：電設資材の共同購買事業、共同宣伝等販売促進事業、教育情報事業

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

## 今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

### 「めでたさも 中くらいなり おらが春」～コロナ禍をどう切り抜けるか。今、経営者がやってはいけないこと

「めでたさも 中くらいなり おらが春」という小林一茶の句が、ぴったりとくるような新年です。

今回、このコラムがお手元に届く頃は、まだ緊急事態宣言が首都圏や地方部でも出されている状態の時だろうと思います。さらに、この厳しい状況の影響は、少し遅れて経営に響いてきます。

筆者は中小企業論という講義を持っていますが、最初の授業の際に話すことに、「中小企業はジェット旅客機の後輪だ」というたとえ話をします。ジェット旅客機が飛び立つ時、最後まで地面についているのは、後輪です。そして、着陸する時に一番最初に地面に着くのも、後輪です。つまり、景気が良くなる時には一番最後に良くなる。景気が悪くなる時は、一番最初に悪くなる。中小企業経営者は、そう考えて経営をしなくてはいけないという意味です。今回も、いずれ新型コロナウイルスの感染拡大は鎮静化し、景気も復興していくはずですが、その上昇気流に乗るまでには、相当の時間がかかりそうな気配は、すでに多くの経営者は感じているでしょう。

このような厳しい状況をいかに乗り切っていくのか、今回は、これまでの不景気の際の体験などから、ヒントを書いてみようと思います。

#### ・510(ごと)日は気になる得意先に顔を出せ

筆者が営業マンをしていた時にも、湾岸戦争が勃発し、急に景気が悪くなった時がありました。得意先が倒産するようなことがあれば、未収金が発生します。得意先の情報をいかに掴み、危機を回避する必要があります。

その際にベテラン営業マンから言われたのが、「510(ごと)日は、気になる得意先に顔を出せ」ということです。顔を出して、なにをやるかという「社長や経理担当部長などがいるかどうかを、まずそれとなく観察しろ。事務所の他の社員たちにおかしな動きがないかも、それとなく見てくるように」ということでした。

5と10が付く日は、支払い日であることが多い。その日に責任者である社長や経理部長が席にいないというのは、資金繰りに困って金融機関に出かけている可能性があると言うのだ。また、「仕事のできる営業マンなど社員が辞めていないかも、それとなく見てこい」とも言われた。会社が危なくなってくると、優秀な社員から辞めていく。優秀な社員は、会社の状況を掴んでおり、そして、転職することも可能だからだ。

もちろん、こうしたことをあからさまに行うことはできない。「あそこは危ない」という無責任な噂は、こうした時期には意味なく飛び交うことが多い。

こうした対応を行うためには、普段から業界内の情報を掴み、絶えず取引先の状況を理解しておく必要がある。

#### ・この時期、急に発注が増えたら喜ぶな

注意すべき点は、他にもある。全体に景気が悪化している時期に、それまであまり取り引きがなかった先から突然、大きな注文があった場合、喜ぶ前に、まず慎重に検討しなくてはならない。

経営者の中には、自社の経営が行き詰まったことを自覚した段階で、投げやりな方向に進む人もいる。つまり、計画倒産や取り込み詐欺といった行為に手を出してしまう経営者もいるということだ。

この場合、最初から支払うつもりはなく、納入された商品は横流しされて、現金化されてしまう。翌月もしくは翌々月の支払日まで、会社は倒産され、支払いがされないだけでなく、納入した商品も消えてしまっているという最悪の状態を迎えるのだ。

この場合、怖いのは景気が悪く、納品側も売上げが下がっており、そこに大量の注文が入れば、「助かった」と浮足立つのは判らないでもない。しかし、苦しい時だからこそ、大量の注文が来た場合は、顧客の素性や状況を慎重に判断する必要がある。特に、奇妙に納入日を急がせるような場合は、より一層の注意が必要だ。

#### ・自社の資金繰りも早急な見直しが必要

「相談にのって、このまま行けば数か月後には資金不足になりますから、借入れを今のうちにしておきましょうと言っても、どうしようもなくなってから大丈夫だと、聞かない経営者がいる。」関東地方の商工会議所所員は、見通しの甘さを指摘します。「経営が悪化している企業や商店が多く、相談窓口が大変混みあっています。資金が枯渇してから、申請の準備をして、書類を作成して、申請するまでには時間がかかるのですと言っても、なぜか頑なに納得しない人がいます。」

自社の資金繰りを見直すことは、本当に苦しい。さらに、最悪を想定すると、数か月後に資金不足に陥るなどということは、考えたくない。いよいよどうしようもなくなった段階で考えればいいじゃないかという逃げに廻る気持ちも判らないでもない。

しかし、予想される最悪の事態に対して、備えるのも経営者の仕事です。こうした異常事態においては、通常の申告時の経理作業とは大きく異なります。顧問として雇っている公認会計士、税理士、中小企業診断士などを総動員して資金繰りの見直しと対策を立てなければいけません。取引先金融機関とも調整が必要となってきます。

多くの中小企業の倒産は、この相談と調整をやらない、特にできない理由を並べ立てて回避しようとするところから引き起こされます。

厳しいことを言えば、この段階で、場合によっては「廃業」という選択肢も出てくる可能性があります。筆者も以前、ある中小製造業の相談にのった際に、「現段階でゲームオーバーした方がいいです。これ以上やると、従業員の退職金積立や保険の解約、さらには経営者の自宅なども失う可能性があります」とアドバイスしたことがあります。もちろん、私はあくまでもアドバイスであり、「税理士や会計士など自社の顧問の先生に、ちゃんと相談してみてください」と言い添えました。

### ・厳しい状況の時に、もっともやってはいけないのは、「一人で抱え込むこと」

多くの中小企業経営者とお付き合いをしていると、なかにはやはり倒産などを回避できなかったケースも目の当たりにします。

もっとも悲惨なのは自死を選択してしまう方がいることです。「万策尽きて」という気持ちになり、追い詰められてしまうのでしょうか。しかし、残された人たちにも重荷を残してしまいます。

こうしたケースで多いのは、経営状況が厳しくなっていることを一人で抱え込んでしまうことです。ある高齢の中小企業経営者は、「騒げばいいのです。大変なことになった。誰か、どうしたら良いかアイデアをくれないかと騒げば、誰かが何か知恵を授けてくれる。」と言います。さらに、「最近の若手経営者は、二代目、三代目でこれまでの不景気を経験しておらず、プライドも高く、なかなか苦しいことを他人に相談できない人が多いように思う。それだけに今回は心配なのだ」と言います。

さらに、金融機関に勤務経験のある中小企業経営者は、「中小企業の経営者は、よく、金融機関というのは晴れの日には傘を押し付け、雨の日には傘を取り上げると批判しています。しかし、だからといって金融機関を敵視していても、良いことはないです。今、金融機関も地元企業に倒産されると顧客が減ることになりますし、もちろん貸し倒れになってしまう。なので、今まで以上に職員が中小企業診断士や会計士などの専門的な資格を取り、緊急時にアドバイスできるように準備をしている。日頃から、担当者とのコミュニケーションを取っておくことはもちろんだが、最初から敵視せず、困ったらすぐに金融機関に相談に行くことも大切です。」と言います。

### ・手軽に借りてはいけない

コロナ禍になって以来、「ファックスには毎日のように、簡単に、すぐに現金を用意しますってという広告が入ってくる」と関西地方の中小企業経営者は苦笑いします。「電話一本で、その日のうちに振り込みますなんて、恐ろしいよねえ。

しかし、こういうのに手を出してしまう人もいるから、こうやってファックスが入るのだろうねえ。」

信じられないという人も多いだろうが、中小企業、個人商店などの倒産において、こうした高利の市中金融から借り入れをしているケースが少なくない。

関西地方の中小企業支援機関の職員は、「多くの場合、無利子や低利融資を利用できたはずなのに、書類を書くのが面倒だとか、時間的猶予がなかったという理由です。」と言う。

確かに、電話一本で融資してくれて簡単だが、利率が高く、返済に行き詰まるのも早い。関東地方で、中小企業を支援している中小企業診断士の一人は、「厳しいようだけれど、高利の市中金融しか手配できないという段階で、一旦、廃業するべきだ。無理をすれば、再出発することができなくなります。」と言います。「一旦、引くという勇気を持つべきだ。」とも言います。

### ・高級車を売って、軽自動車に乗り換えられるか

リーマンショック後の不景気の時に、父親から引き継いだ中小企業を立て直した経営者が言ったことが心に残っている。「今まで成功して、社長、社長と言われて、高級車にも乗って、クラブで遊んで、ええ思いをしてきたら、悪くなっているのを判っているのに見栄が先立って、止めることができない。しかし、周囲はよう見えています。そんなことしていれば、悪くなるに従って、従業員も離れていく。高級車を売って、軽自動車に乗り換えられるか。状況が悪くなった時こそ、最後は人間性が問われるんです。」

### ・危機に直面したら

最後に整理をしてみよう。

まず、取引先の状況を正確に掴む。

自社の資金状況を再度、精査する。

そして、資金繰りは数か月先を見越して、すぐに手当てをする。

なにより、一人で抱え込まず、多くの人たちの協力と助言を得ること。

まだ、トンネルは続いている。しかし、先には明るい光も見えている。問題は、そこまで走り続けられるかだ。そこまで困っていないという経営者の方もいらっしゃるだろう。それは幸いだ。その場合には、ぜひ支援側に回っていただきたい。自分だけ生き残るということが、困難な状況だということも、もう充分理解できているはずだ。



中村 智彦  
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常 勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・日本福祉大学経済学部 非常勤講師

【専 門】 中小企業論・地域経済論

【略 歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活 動】 愛知県「愛知ブランド」認定委員・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー  
やまがた里の暮らし大学校「まめ学部」学部長

<http://www.facebook.com/mamenoarumachi>

## 組合等④活動

### LINE登録にて飲食店で使えるクーポン発行

飛騨高山旅館ホテル協同組合（村井繁喜理事長）

飛騨高山旅館ホテル協同組合は、「飛騨高山クーポンでいっぱいLINE食う〜ポン」と題し、令和2年12月1日から12月25日の平日と令和3年1月12日から2月26日（終期は予定、詳細は組合ホームページをご確認ください）の期間の平日に、先着2,500名で当組合加盟の宿泊施設に宿泊された方に飲食店で商品と交換できるクーポンをプレゼントしている。

無料通信アプリ「LINE」にて「飛騨高山旅館ホテル協同組合」を友達登録することでキャンペーンの抽選に参加でき、当選した場合、宿泊施設のフロントにてクーポン券と引き換えることができる。

クーポンは、飛騨高山名物である飛騨牛赤身にぎり寿司や飛騨牛串、高山中華そば、みたらしだんごなど

合計2,500円相当分の商品と交換することができる。

中畑稔事務局長は「平日の宿泊施設の活性化や高山の街全体の賑わいに繋がれば」と思いを語った。



### レンタサイクル事業の実証実験スタート

岐阜長良川温泉旅館協同組合（伊藤善男理事長）

岐阜長良川温泉旅館協同組合は、電動自転車を使って市内を観光するレンタサイクル事業「チャリタビ!」の実証実験を開始した。実証実験期間は12月21日から1月31日まで。当組合の加盟宿泊施設に宿泊した方限定に電動自転車を貸し出して行く。

自転車には衛星利用測位システム（GPS）を搭載し、利用者がどこの観光地を訪れ、どのくらい滞在したかのデータを収集し、観光施策に生かす。車では気付かない魅力を発見してもらおうと、歴史や自然等が満喫できる3つのモデルコースを用意している。

当組合の若女将会の伊藤知子会長は、「自転車周遊し、岐阜の新たな魅力を感じてもらえれば」と話した。

なお、実証実験は1月31日までであるが、レンタサイクルについてはその後も継続して行われる。



チャリタビ!プレス発表会

### ニセ電話詐欺注意喚起シールを作成

岐阜県菓子工業組合（沢田誠理事長）

岐阜県菓子工業組合が立ち上げた組合員の製造販売する菓子情報を発信する「岐阜おやつ編集室」は、岐阜県警察と協力し、高齢者に対するニセ電話詐欺の被害防止啓発を行った。

県警は高齢者が比較的多く利用する和菓子店で啓発をしてもらおうと、当編集室に協力を求めた。

当編集室では、ニセ電話詐欺注意喚起を呼び掛けるシールを作成し、県警が用意したポスターとともに、組合員店舗に配布し、注意を呼び掛けている。

編集長を務める常川智子事務局長は、「和菓子店

には高齢者が来店される機会が多い。詐欺被害の減少に貢献できれば」と語った。



ストップ!ニセ電話詐欺!シール

## 創立30周年記念式典・祝賀会を開催

高山管設備工業協同組合（倉林雅人理事長）

高山管設備工業協同組合は、組合創立30周年記念式典・祝賀会を12月4日にひだホテルプラザで開催した。

記念式典では、倉林理事長より組合のあゆみが紹介され、近年の災害への対応等が高山市から高く評価されていることを話し、今後も一致団結して、高山市民への安全、安心な水を供給していくことが組合員に呼びかけられた。また、高山市の上水道事業の指定管理業務受託の(株)高山管設備グループ構成会社3社と長年にわたって指定管理業務に従事した組合員会社従業員3名に感謝状が贈呈された。

5月には、創立30周年記念として、高山市への日頃の感謝の意を含め、弱酸性次亜塩素酸水1,200リット

ルと専用のスプレーボトル100本の寄付を行い、組合員で各学校に届ける取り組みを行った。



記念式典の様子

## 多治見・土岐・瑞浪で美濃焼新春見本市を開催

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会所属の12組合等は、多治見・土岐・瑞浪市で1月7・8日に、新春恒例の「美濃焼新春見本市」を開催した。各組合の陶磁器メーカーが商社等に対し、今年の新作や一押しの商品をアピールするため、各市の協同組合が協力して毎年開催しているものであり、アイデアや技術をいかした商品がずらりと並んだ。

また、滝呂陶磁器工業協同組合は中央会の支援により、「小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業」に取り組み、石膏型製作の一部に3Dプリンターを導入して作った製品の展示や求評を行った。

なお岐阜県陶磁器工業協同組合連合会では、同時に

オンライン上で「美濃焼WEB見本市」を開催している。

<https://www.minoyaki-webmihonichi.com/>



新春見本市の様子

## 婦人子供服製造技能士1級に合格

岐阜県既製服縫製工業組合（平嶋千里理事長）

岐阜県既製服縫製工業組合が実施する「プロフェッショナル・ミシンオペレーター育成講座」の受講生の中から、国家検定である婦人子供服製造技能士 婦人子供既製服製造作業1級の合格者が誕生した。

当組合では付加価値の高いものづくりのための技術者育成を重要事業と位置づけ、中央会の「組合等支援事業」を活用して講座を開講しており、今年度で4年目を迎える。

今回は、「世界に発信できる縫製技術者を育成する〔型崩れしにくいジャケット技術編〕」をテーマに、日本最高レベルの講師を招聘し、全5回の講座を開講した。

当講座を企画する浅野勝三副理事長は、「講座から技能士が何名も誕生していることは嬉しい。縫製業界は高齢化が騒がれているため、若手には技能検定に

どんどん挑戦してほしい。コロナ禍で付加価値の高いものづくりが求められるようになるため、今後も講座を継続開催して技術や有益な情報を発信していく」と意欲を語った。



プロフェッショナル・ミシンオペレーター育成講座の様子

## 自動車車体整備技能者手帳を作成

岐阜県自動車車体整備協同組合（平野将告理事長）

岐阜県自動車車体整備協同組合は、中央会「組合等活動応援成事業補助金」を活用して、自動車車体整備技能者手帳を作成した。

当組合は、平成30年度に中央会「組合等ブランド強化支援事業」を活用し、『組合員総活躍!!～みんなで、話し合っ、考、え、て、活、動、し、て、も、う、け、て、支、え、あ、う、～』をスローガンに掲げた組合長期ビジョンを策定した。

今回の整備技能者手帳作成は、策定した組合長期ビジョンの中で課題として掲げた自動車車体整備士の取得拡充とその活動を実施する岐阜協認定委員会の目的である組合独自の認証制度創設への取り組みの一環である。

作成した整備技能者手帳は組合員及びその従業員に配布され、有資格者であることの証明に加え、組合等で実施する各種研修会等の受講状況を記録・証明するために使用される。また、従業員等にとって一生に一度の大切な資格証明書としてもらうことも目的の一つである。



自動車車体整備技能者手帳

## 新型コロナウイルス感染症に対応したガイドラインの策定・運用マニュアルの作成

岐阜県金属工業団地協同組合（今井哲夫理事長）

岐阜県金属工業団地協同組合は、中央会「組合等ブランド強化支援事業（特別枠）」を活用し、合同会社BCRマネジメントの近藤寿史氏を迎え、新型コロナウイルス感染症に対応した組合事務局や製造現場向けガイドラインの策定及び運用マニュアルの作成を行った。

ガイドラインには、感染予防対策から始まり、感染者が確認された際の対応フローや事業継続計画（BCP）について明記されている。当組合はもともとBCPを策定していなかったことから、「BCPとは何か、災害による被害と新型コロナウイルスによる被害との違い、それぞれの対応策の違い」を最初に理解を深め、必要な事前対策・事後対応について検討した。

今回作成したガイドライン等は、10月に開催した組

合員が集まる月例会において、報告・説明を行い、対応策をマニュアル化していない組合員や各対応策の見直しに活用いただく。コロナに焦点を当てたBCPを策定している組合員は多くなく、一部の組合員では、今回の組作成BCPを参考に策定を進めている。



月例会での報告・説明の様子

## 新型コロナウイルス感染症対策に向けたBCPの確立

協同組合岐阜県可児工業団地管理センター（傍島茂夫理事長）

協同組合岐阜県可児工業団地管理センターは、中央会「組合等ブランド強化支援事業（特別枠）」を活用し、合同会社BCRマネジメントの近藤寿史氏を迎え、新型コロナウイルス感染症に対応した感染症対策BCPの策定に取り組んだ。

当組合では過去にも「組合等ブランド強化支援事業」の活用により、BCPを策定し、その後BCP訓練シナリオの策定方法や訓練後の課題整理方法等を確立、組合と組合員の連携体制の構築やBCP普及活動等を推進する委員会を立ち上げる等、BCPに対して高い意識を持っている。

工業団地では感染者発生時の初動対応が焦点にな

り、対応を誤れば、団地の社会的責任が問われ、ブランド価値を毀損しかねない。感染者が出ても従業員が安心して働ける環境を保ち、取引先や地域に迷惑をかけない態勢づくりに知恵を絞った。感染者が出たら団地内で連絡を密に取り合っ、て、感、染、源、を、最、小、限、に、と、ど、め、る、対、策、・、対、応、が、盛、り、込、ま、れ、て、い、る。



BCP策定の取り組み様子

# 会長新春インタビュー

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延は、国内外での移動制限、活動自粛やサプライチェーン寸断、インバウンドの縮小による経済活動の停滞をもたらし、国内景気はリーマンショック以来の低水準に落ち込んでいます。国の施策実行もあり、国内経済は徐々に回復に向かいつつあったものの、ここに来ての急激な新型コロナウイルス感染再拡大により、長期化も予想され、中小企業は以前にも増して厳しい経営環境に置かれています。

こうした中で、中央会は、中小企業連携組織の専門機関として、中小企業及び中小企業組合の活力ある発展のための取り組みを行っています。

未曾有の事態により、社会経済の混迷が深まり、先行きが見通しにくい中ですが、本年が明るい希望を抱ける年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春インタビューに応える今井会長

## 『連携の力で無限の可能性にチャレンジ！』

～中央会は、「ウィズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します～

### ❖昨年を振り返って

重点事業として、組合・企業間連携の促進と新商品開発等の支援、人手不足対策への支援、円滑な事業承継の推進に向けた支援、働く女性の活躍推進、国の『ものづくり補助金』の地域事務局の運営、そして新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援を掲げ取り組んできました。新型コロナウイルス感染症等の関係で様々な事業のスタートが遅れていますが、着実に事業実施を進めています。

新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援については、専門家派遣事業である組合等ブランド強化支援事業にコロナ対応として特別枠を設け、コロナ社会を生き抜くための体制の構築や感染対策BCP、ガイドラインの作成支援を行いました。

人手不足対策支援では、コロナにより非対面での採用活動の実施や事業継続の為にやむを得ず解雇や雇止めを実施する企業の増加を受け、オンラインでの採用活動や助成金を活用しての雇用維持、雇用調整の注意点についてのセミナーを開催しました。

### ❖中央会の活動と方針

中央会では『連携の力で無限の可能性にチャレンジ！～中央会は、「ウィズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します～』を新たなスローガンに掲げ、連携による新たな価値の創造、生産性の向上のみならず、社会の変化に柔軟に対応し、コロナ禍にあってもピンチをチャンスに変えるための新事業展開や新事業創出に取り組む組合・中小企業者に対して、中央会が持つ多様な施策やノウハウを通じて積極的に支援していきます。

令和3年度においては、中央会の恒常的活動である巡回、窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、専門家の派遣による課題解決策の提案、研修会の開催、情報提供を行うとともに、“アフターコロナ時代”への移行を見据え、ウィズ・コロナ時代における重点事業として次の事業に取り組むこととします。

1. 組合・企業間連携促進の支援
2. 新事業展開・新事業創出など“新たな取り組み”への支援
3. 事業承継・事業再編に向けた支援
4. 新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援
5. ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営

具体的には、「1. 組合・企業間連携促進の支援」として、企業連携講演会・交流会やIT・IoT活用研究会、業種別情報交換会を開催します。「2. 新事業展開・新事業創出など“新たな取り組み”への支援」として、販売力強化セミナー、海外展開を目指す企業等への対策セミナーを開催します。「3. 事業承継・事業再編に向けた支援」として、事業承継セミナー、人材確保に関するセミナーを開催します。「4. 新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援」として、専門家派遣事業である組合等チャレンジサポート事業(旧組合等ブランド強化支援事業)により支援を行います。「5. ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営」として、「ぎふものづくり連携倶楽部」の活動を通じた販売促進や販路開拓等のフォローアップにより支援を行います。

## 理事会並びに講演会を開催

中央会は、理事会並びに講演会を11月27日にホテルパークで開催した。

### 【理事会】

開会にあたり今井会長があいさつした後議案審議に入り、令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)の概案の承認について審議し、原案どおり可決決定した。また、新規加入組合等のほか、今年度の主な事業の進捗状況、令和3年度の通常総会日程等について報告を行った。

### 【新規加入組合】

期間:2020年5月1日(前回理事会)~2020年11月26日まで  
※( )内は所在地・組合員数

### 【1号会員】

コメット協同組合(岐阜市・5名)  
岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会(多治見市・4名)  
大瀬化成企業組合(美濃市・11名)  
協同組合NSCA(不破郡関ケ原町・6名)  
さくら事業協同組合(可児市・19名)  
協同組合アクセス(岐阜市・14名)

### 【2号会員】

一般社団法人岐阜県解体工事業協会(岐阜市)



理事会の様子

### ~理事会・通常総会の予定~

○令和3年度第1回理事会  
令和3年4月21日(水)  
10:30~12:00  
ホテルグランヴェール岐阜

○第66回通常総会  
令和3年6月16日(水)  
15:30~17:00  
岐阜グランドホテル  
※総会終了後、懇親会を予定

### 【講演会】

講演会に先立って、古田肇岐阜県知事より挨拶があり、古田知事は「新型コロナウイルス感染者数が全国17番目の早さで1,000人到達となった。急速に感染者が増加しているが、岐阜県では誰一人自宅待機はさせず、必ず隔離をさせることを最初から今日まで徹底している。コロナ禍の経済停滞に対して、給付金や融資、無担保の貸付、技術回復支援、雇用対策支援、更にはデジタルトランスフォーメーションに向けての支援、出来る限りのことを考えている」と挨拶した。

テーマ 「人生百歳・九二は新兵のつもり」

講師 岐阜県中小企業団体中央会 名誉会長 辻 正 氏

辻名誉会長はこのほど出版発刊された著書『続 うたつの子』について「人生百年、九十二歳はまだまだひよっこだという気持ちで執筆した」と語った。

また自身の夢として、「岐阜県が全国で一番の中小企業の模範県となり、そして柳津の流通センターの前にある田んぼに、東京の中小企業を迎え入れ、岐阜県がより豊かになればうれしい」と力強く思いを語った。



古田知事 挨拶



辻名誉会長 講演

## コロナ禍における働き方と人材との向き合い方 セミナーの開催

中央会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により変わりつつある、在宅勤務の推進やオンラインを利用した非対面での採用活動、日本の働き方や人材との向き合い方への対応として、「コロナ禍における働き方と人材との向き合い方」をテーマとした全3回のセミナーを開催している。

講師は、中小企業診断士、社会保険労務士の河合正尚氏が務め、全3回の内2回が終了し、「オンラインでの採用活動について」を11月20日、「雇用維持が困難な場合の注意点」を12月15日に開催し、「テレワークの導入について」は1月28日に開催する。

○「オンラインでの採用活動について」:オンライン採用のメリット・デメリットや成功の秘訣について解説した。オンライン採用はグダグダ感がでてしまうと、「この会社大丈夫?」と求職者に不安を与えてしまうため、何度も練習してから行うことが良いと説明した。

○「雇用維持が困難な場合の注意点」:雇用維持のための助成金について解説を行った。雇用整理については、リストラ=人員整理ではなく、会社の再構築であることを肝に銘じて進めていく必要があると説明した。



セミナーの様子

## 組合事務局スキルアップ講座を開催

中央会は、組合事務局職員を対象にした「組合事務局スキルアップ講座」全6回(2テーマ(「組合制度」「組合会計」)×3会場(岐阜、東濃、飛騨))の内、東濃会場にて組合会計を11月24日、岐阜会場にて組合制度を12月3日、組合会計を12月17日に開催した。

講師は、すでに終了した東濃、飛騨会場と同様に、組合制度を中央会職員、組合会計を税理士の森靖氏が務めた。

当初2テーマ×3会場の全6回でご案内していた当講座でしたが、組合制度(岐阜会場)に定員を超える申し込みがあったことを受け、追加開催を行い、1月27日開催が今年度最後の講座開催となります。多数のお申込み・ご参加、まことにありがとうございました。



組合制度(岐阜会場)の様子

## 諸制度改正に伴う専門家派遣等事業講習会の開催

中央会は12月8日にOKBふれあい会館で諸制度改正に伴う専門家派遣等事業として「インボイス制度に向けて必要な対策」をテーマに講習会を開催した。

令和5年10月1日から、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として導入される適格請求書等保存方式(インボイス制度)への対策として、税理士森靖氏が解説を行った。

森氏は「インボイスが発行できないと仕入税控除が受けられないため、取引先からの値引きの強要が危惧される」と解説した。組合が検討すべき課題としては「組合員との取引の際に、インボイスが発行できなければ、組合員の負担が増えてしまうため、組合はインボイスを導入する方が良い」と説明した。



講習会の様子

## 「外国人技能実習制度適正化講習会(第2回)」を開催

中央会は、1月14日にホテルグランヴェール岐山で第2回外国人技能実習制度適正化講習会を開催し、外国人技能実習生受入組合の担当者ら60人が出席した。

講習会は2部構成で行われ、第1部では、「出入国管理の状況と技能実習生の受入れについて～コロナ禍における出入国時の特例措置～」をテーマに名古屋出入国在留管理局 統括審査官の伊藤聡氏より説明があった。第2部では、「技能実習計画認定申請書類及び入国・在留手続諸申請書類作成時の注意点」をテーマに公益財団法人国際人材協力機構 主任相談員の横井聖次氏より説明があった。



講習会の様子

## 県中小企業青年中央会 組合青年部がガヤガヤ会議を開催

県中小企業青年中央会は、11月27日にホテルグランヴェール岐山で「組合青年部ガヤガヤ会議」を開催し、会員22名が参加した。

毎年恒例で実施している、組合青年部員が集まり、肩肘張らずにワイワイガヤガヤと討論するガヤガヤ会議であるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員同士のグループ討論は実施せず、講演のみの開催となった。

講演では、元プロサッカー選手でFC岐阜クラブアンバサダーを務める難波宏明氏を講師にお招きし、「組織の中で自分を活かす働き方」をテーマに講話いただいた。難波氏のプロスポーツ経験に基づいた組織論の講話に、多くの参加者の聞き入る姿がみられた。



ガヤガヤ会議の様子

## 県中小企業組合士協会 研修会及び懇談会を開催

県中小企業組合士協会は、12月2日に岐阜県金属工業団地協同組合で「研修会及び懇談会」を開催し、会員11名が出席した。

研修会は、「最近の景気・経済動向」をテーマに、協会会員でもある古田千尋氏が講師を務め、「世界経済に何らかのショックが起きた時、投資家は比較的 안전한日本円を買い占めるため円高になる傾向にあるが、安倍内閣と黒田日銀総裁が円の流通量を急激に増やしたことで、コロナによる有事の円高を未然に防ぐことができた」と解説した。

懇談会は、「コロナ禍における各組合の課題と対応について」をテーマに、各会員により所属組合の取り組みについて報告がなされた。



研修会の様子



# 景況レポート

令和2年  
12月末調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名  
の情報連絡票から

## 【I】12月の特色

- ◆景況感DI値マイナス71 前月比横ばいで推移  
～マイナス70台と厳しい状況が続く～
- ◆新型コロナウイルス感染症の再拡大及びそれに伴う自粛、  
時短要請、GoToキャンペーンの一時停止が経営を圧迫

## 【II】12月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転0、悪化71で、DI値はマイナス71となり、前月のDI値マイナス71に対し、±0ポイントの横ばいとなった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス72となり、前月比3ポイントの改善、非製造業のDI値はマイナス70となり、前月比3ポイントの悪化となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては、家具、タイル、鋳物の3業種(前月比±0業種)であり、悪化したとする業種は、メンプアパレル、製材の2業種(前月比+2業種)であった。

また、非製造業において改善したとする業種は、0業種(前月比-3業種)であり、悪化したとする業種は、家電機器販売の1業種(前月比-1業種)であった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス62で前月比12ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス30で前月比5ポイントの悪化、収益状況DI値はマイナス61で前月比4ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス47で前月比3ポイントの改善、雇用人員DI値はマイナス28で前月比1ポイントの悪化となった。

コメントを見ると、一部の業種等からは業況回復に向けたコメントも報告されており、製造業では、「10月下旬に開催さ

れた家具の展示会からの成約もある程度見込まれ、売上にも反映してきている。(家具)」、「先月に引き続き景気は回復基調にある。主力の一般産業機械が好転しつつあり、自動車・建機関連も上昇傾向。(鋳物)」などといった内容が報告された。

非製造業では、「先月に引き続き、売上・利益共に回復基調にある。民間物件や公共物件をはじめ、設備投資も若干だが持ち直してきているように感じる。(電設資材卸)」、「12月の食品関連の売上は前年を2%ほど上回った。また、医薬品や、ゲーム・書籍・DVD等の娯楽商品も好調であった。(共同店舗(飛騨地区))」などといった内容が報告された。

一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大が業績へ悪影響を与える内容も多数報告されており、製造業では、「飲食店の時短営業の実施と、GoToキャンペーンの一時停止により、今後の業務用製品需要への悪影響は一層大きくなるものと考えられる。(牛乳製造業)」、「量販店からの受注はある程度確保できているが、外食チェーンやホテル等、業務用陶磁器の需要の大幅な減少により、全体の売上としては減少している。(陶磁器(工業))」、「回復の兆しが見られる組合員が徐々に出てきたが、航空機関係等、取扱品によっては依然として厳しい状況が続いている。(県金属工業団地)」などといった内容が報告された。

非製造業では、「取引先となる居酒屋等の飲食店の多くが現在時短にて営業していることと、一般消費者の外出自粛の影響により売上が上がらない。(水産物)」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関するニュースが連日報道されたことで、一般顧客は自粛ムードとなり、クリスマスや年末の売出しに向けての雰囲気も盛り上がりすぎてこず、今までに経験したことのない状況となっている。(岐阜市商店街)」、「10月から12月の中旬まで回復基調にあった業況も、12月後半から予約のキャンセルが続出し、1月と2月の予約も激減、ほぼ休業している様な状況となっている。(長良川畔旅館)」などといった内容が報告された。

## <主な調査項目での動向>

12月次景況	
項目	DI値
景況	-71 (0)
売上高	-62 (12)
販売価格	-30 (-5)
収益状況	-61 (4)
資金繰り	-47 (3)
雇用人員	-28 (-1)

カッコ内は前月比増減ポイント

業種)あり、特に繊維・同製品、紙・紙加工品、鉄鋼・金属、一般機械、卸売業、小売業、商店街、サービス業、運輸業の区分で多かった。

### 【販売価格の動向】

販売価格DI値マイナス30、前月比5ポイントの悪化。販売価格が上昇した業種は4業種(前月比±0業種)あり、製造業の食肉(国産)と、非製造業の青果販売、水産物商業、下呂温泉旅館である。

販売価格が低下した業種は25業種(前月比-4業種)であり、特に繊維・同製品、一般機械、商店街、サービス業の区分で多かった。

### 【売上高の動向】

売上高DI値マイナス62、前月比12ポイントの改善。

売上高が増加した業種は6業種(前月比+3業種)あり、製造業の銘木、碎石生産と、非製造業の青果販売、理容・美容業、土木(岐阜地区)、木造建築である。

売上高が減少した業種は49業種(前月比-6

### 【収益状況の動向】

収益状況DI値マイナス61、前月比4ポイントの改善。収益状況が好転した業種は3業種(前月比+1業種)であり、製造業の銘木、家具と、非製造業の木造建築である。収益状況が悪化した業種は46業種(前月比-1業種)であり、特に繊維・同製品、紙・紙加工品、窯業・土石、一般機械、卸売業、小売業、商店街、サービス業の区分で多かった。

### 【資金繰りの動向】

資金繰りDI値マイナス47、前月比3ポイントの改善。資金繰りが好転した業種は1業種(前月比+1業種)であり、製造業の家具である。資金繰りが悪化した業種は34業種(前月比-1業種)であり、特に食料品、繊維・同製品、紙・紙加工品、一般機械、卸売業、商店街、サービス業の区分で多かった。

### 【雇用人員の動向】

雇用人員DI値マイナス28、前月比1ポイントの悪化。雇用人員が増加した業種は0業種(前月比-1業種)であった。雇用人員が減少した業種は20業種(前月比±0業種)であり、特に一般機械、商店街の区分で多かった。

# 県内中小企業

(12月末調査)

## 主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳		△	△	△	▲	△	▲
	食肉(国産)		△	○	△	△	△	△
	菓子		▲	△	▲	▲	▲	▲
	米菓		△	△	△	△	△	△
	製麺		▲	△	▲	▲	△	▲
繊維・同製品	擦糸		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	ニット工業物		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	毛織物		▲	△	▲	▲	△	▲
	合成繊維織物		▲	▲	▲	▲	△	▲
	メンズアパレル		▲	△	▲	△	△	▲
木材・木製品	製材		▲	▲	▲	▲	△	▲
	銘木		○	▲	○	△	△	△
	家具		△	△	○	○	▲	△
紙紙加工品	機械すき和紙		▲	△	△	△	▲	▲
	特殊紙		△	△	▲	▲	△	▲
	紙加工品		▲	△	▲	▲	△	▲
印刷	印刷		▲	▲	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック		△	△	△	△	△	▲
窯業・土石	陶磁器(工業)		▲	△	▲	▲	▲	▲
	タイル		▲	△	▲	△	△	△
	窯業原料		▲	△	▲	△	△	▲
	石灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート		△	△	△	△	△	△
	砂利生産		△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産		○	△	△	△	△	△
	鋳物		△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)		▲	△	▲	▲	△	▲
	刃物等金属製品(内需)		▲	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ		▲	△	▲	▲	△	▲
	県金属工業団地		▲	△	▲	△	▲	▲
	可児工業団地		▲	▲	▲	▲	▲	▲
輸送用機器	金型		▲	▲	▲	▲	▲	
輸送用機器	輸送用機器		▲	△	▲	▲	△	▲

  

非 製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸		△	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸		▲	△	▲	▲	△	▲
	機械・工具販売		▲	▲	▲	▲	▲	▲
小売業	青果販売		○	○	△	△	△	△
	水産物商業		▲	○	▲	△	△	▲
	家電機器販売		△	△	△	△	△	▲
	メガネ販売		▲	△	▲	▲	△	▲
	中古自動車販売		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	石油製品販売		▲	▲	▲	△	△	▲
	共同店舗(飛騨)		△	△	△	△	△	▲
	生花販売		▲	▲	▲	△	▲	▲
商店街	岐阜市商店街		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	大垣市商店街		▲	▲	▲	△	△	▲
	高山市商店街		▲	△	▲	▲	▲	▲
サービス業	自動車車体整備		▲	▲	▲	▲	△	▲
	長良川畔旅館		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	下呂温泉旅館		▲	○	▲	▲	▲	▲
	高山旅館		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	クリーニング		▲	△	▲	△	△	▲
	広告美術		▲	▲	▲	▲	△	▲
	旅行業		▲	▲	▲	▲	△	▲
	理容・美容業		○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)		○	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)		▲	△	△	△	△	△
	建築設計		▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物		▲	▲	▲	△	△	▲
	電気工事		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	管設備工事		△	△	△	△	△	△
	建築板金		△	△	△	△	△	△
	室内装飾		▲	△	▲	△	△	▲
	木造建築		○	△	○	△	▲	△
	運輸業	貨物運送(岐阜地区)		▲	▲	▲	▲	△
軽運送		▲	△	△	△	△	△	
その他の非製造業	貸植木業		△	△	△	△	△	△

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]  
 △: [不変]  
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和元年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご活用ください。 「組合事例検索システム」 <http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

## 木曽漆器工業協同組合

人々が集う街づくりを目指し、木曽漆器産地の活性化へ

主な業種	漆器業及び関連木工業				
住所	長野県塩尻市大字木曽平沢2272-7				
URL	<a href="http://kiso.shikkikumiai.com/">http://kiso.shikkikumiai.com/</a>				
設立	昭和24年7月	組合員	117人	出資金	18,695千円

**■ 背景・目的** .....  
木曽漆器工業協同組合青年部ビジョン「楢川・工芸の人々が集う街～作り手が住みたくなる街を目指して～」の事業の実現化を目指し、平成28年度から3年間、長野県伝統的工芸品産業魅力アップ・創造事業の産地活性化プロジェクト事業を活用して木曽漆器ブランド化に向けた様々な事業に取り組むこととなった。

**■ 取り組みの手法と内容** .....  
長野県伝統的工芸品産業魅力アップ・創造事業の産地活性化プロジェクト事業を活用し、組合青年部、組合、組合事務局、筑波大学（3先生、学生）、塩尻市、長野県、長野県中小企業団体中央会が連携してプロジェクト推進体制の構築をし、木曽漆器ブランド化のため以下の事業を実施した。

新たな木曽ブランドの構築では本プロジェクトの目指す方向性を共有し、木曽漆器のプロモーション動画を作成した。  
木曽漆器の新たなデザインの開発では木曽ヒノキと信州産の漆を使用、木曽漆器のブランド価値を高めるため、箸

のデザイン開発を行った。「器の蔵」器と食のコラボレーションによる情報発信では、「かしだしっき」を制作した。空き家の活用、改修による活動・レジデンス拠点の整備では、青年部拠点「二四重」の整備と、レジデンス拠点の宿泊場の整備を行った。若手作家の招聘による創作活動移住交流促進では、現代芸術家、筑波大学生等のレジデンス活動の支援を行った。

今後の活動としては、青年部拠点の有効活用とレジデンスの実施、情報発信のツールとして「プロモーション映像」「かしだしっき」「プロモーション用箸」を活用した具体的な情報発信を行うことである。

**■ 成果とその要因** .....  
木曽漆器を情報発信するための青年部の拠点も整備され、情報発信のツールとして「プロモーション映像」、「かしだしっき」、「プロモーション用箸」等の準備ができた。  
事業推進の成功要因は、組合内部の組織だけではなく、上記に挙げた多くの関係機関と連携できたことである。

**！ キーフクター** .....  
伝統的工芸品の産地の次代を担う青年部活動の活発さや情熱、地元市町村を含む関係機関の連携による事業推進が大切である。

## ～組合青年部活性化に向けた取り組みの立案と組合青年部の創設～ **岐阜県の組合青年部活動紹介**

このコーナーでは、令和元年度本会が作成した「組合青年部組織化推進事業報告書」より抜粋して積極的に活動している組合青年部の活動を紹介します。組合青年部活動並びに青年部創設の参考にご活用ください。

### 岐阜電気工事協同組合【スキルアップ講習会の開催】

組合では、電気工事業務の質の向上に向け、各団体と連携し研修会の充実を図り、電気工事技能の向上とお客様の信頼に応え、電気安全を通し地域社会へ貢献することを目指している。

その取組のひとつとして、第二種電気工事士試験（筆記・実技）の試験準備講習会や、初心者訓練を実施している。

講習会の開催案内は親組合が行うが、企画運営は青年部に任されており、青年部が講師を担っている。

電気工事業界では後継者・人手不足が課題のひとつとなっており、電気工事士の需要は、今後もより高まると言える。第二種電気工事士試験（筆記・実技）の合格を目指す組合員を対象に試験準備講習会を開催し試験のポイントや留意点についての説明とアドバイスをを行っている。

また、昇降柱及び計器作業の初心者訓練を実施しており、高所作業車を使つての指導、指導員による計器作業デモンストレーションを行い、若手人材の育成及び定着に努めている。



昇降柱訓練

## 今年もよろしくお願ひします

日頃より、岐阜県中央会の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年も組合及び中小企業・小規模事業者のために業務に励んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

また、皆様に本誌を活用いただくため、掲載記事の見直しを行っておりますので、ご意見やご提案をお寄せいただくとともに、組合員の皆様への情報提供などにご活用いただきますようお願い申し上げます。



## 中央会日誌

### (11月22日~1月21日)

#### 【中央会事業】

- 11月24日 スキルアップ講座(会計・東濃)
- 27日 理事会及び講演会
- 12月 3日 スキルアップ講座(制度・岐阜)
- 8日 諸制度改正に伴う専門家派遣等事業 講習会
- 15日 「コロナ禍における働き方と人材との向き合い方」セミナー
- 17日 スキルアップ講座(会計・岐阜)
- 1月14日 外国人技能実習制度適正化講習会
- 20日 商談会事前対策セミナー

#### 組合等ブランド強化支援事業

- 12月23日・1月20日 岐阜県東部電気工事(協)
- 12月24日 岐阜県日中友好技能実習(協連)
- 1月 6日 奥飛騨宝温泉(協)
- 1月 7日 東濃ひのぎ製品流通(協)
- 1月18日 多治見美濃焼卸センター(協)
- 1月20日 岐阜県東部電気工事(協)

#### 組合等支援事業

- 12月10日 岐阜県既製服縫製(工組)

#### 諸制度改正に伴う専門家派遣

- 1月 8日 岐阜県日中友好技能実習(協連)

#### 【出席会議等】

- 11月25日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
- 12月 4日 高山管設備工業協同組合 創立30周年記念式典・祝賀会
- 14日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
- 15日 新型コロナウイルス感染症の影響拡大を踏まえた岐阜県金融緊急会合
- 17日 ぎふ働き方改革推進協議会 株式会社大垣共立銀行 土屋 嶮「お別れの会」
- 21日 労働者派遣事業適正運営協力員会議
- 23日 都道府県中央会事務局代表者会議
- 1月 9日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
- 14日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
- 18日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策に関する経済・雇用・生活再生会議

## 職員コラム

中央会職員が交代で徒然なるままに綴ります。

皆さんはじめまして。昨年4月に中央会へ入職しました西田 慎悟と申します。



企画振興課  
西田 慎悟

私の実家は祖父の代から続く乾物屋で、鯉節を薄く削った「花鯉」をメイン商品として、「干し椎茸」、「煮干し」、「昆布」等の主にだしをとる為の乾物を個人のお客様や飲食店に販売しています。

私が幼かった頃はまだ商売にも活気があり、忙しい時期にはアルバイトを雇って営業していましたが、大手スーパーの進出や食の多様化等の影響により年々商売の規模は縮小していき、今では母一人で細々とお店を切り盛りしています。

そんな我が家ですが、今でも年末は来客や注文が立て込み忙しくなるため、配達や店番等の手伝いをしています。本当は鯉節を削ってみたいのですが、「鯉節を蒸してから冷ますまでの工程」や「削る際の刃の当て方」等が微妙に違うだけでも、味や触感、見た目等が大きく変わってくることから、年末くらいしか手伝いをしない私には中々削らせて貰えません。

昨年の暮れも店番をしていると、「年越しの料理に使いたい」という方や「一年間お世話になった人に贈りたい」という方など様々なお客様が来店され、沢山のお話を聞かせて頂くことができました。人との接触が難しく、どうしても人との関わりが希薄になりがちな1年でありましたが、年の終わりに人と話すことの大切さを改めて実感することができました。

まだまだ大変な状況下ではありますが、この状況が1日も早く解消され、皆様にとって良い1年となることを心からお祈り申し上げます。



## 商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定  
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利  
(元本保証)

1年、2年、3年から  
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金 **マイハーベスト**

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16

高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町5-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索

人を思う。未来を思う。  
**商工中金**

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。